

＜福島第一原子力発電所プラント状況等のお知らせ＞
(1月9日 午後4時現在)

平成24年1月9日
東京電力株式会社
福島第一原子力発電所

福島第一原子力発電所は全号機（1～6号機）停止しています。

1号機（停止中）

- ・平成23年3月12日午後3時36分頃、直下型の大きな揺れが発生し、1号機付近で大きな音があり白煙が発生しました。水素爆発を起こした可能性が考えられます。
- ・平成23年3月25日午後3時37分より原子炉への淡水の注入を開始し、現在は外部電源から受電した電動ポンプで淡水の注入を行っています。
- ・平成23年12月10日午前10時11分、給水系配管からの注水に加え、炉心スプレイ系注水配管から原子炉への注水を開始しました。
現在の注水量は給水系配管から約 $4.6\text{m}^3/\text{時}$ 、炉心スプレイ系注水配管から約 $1.8\text{m}^3/\text{時}$ です。
- ・平成23年4月7日午前1時31分、原子炉格納容器内へ窒素ガスの注入を開始しました。
- ・平成23年8月10日午前11時22分、使用済燃料プール冷却浄化系の代替冷却装置によるプール水の循環冷却を開始しました。
- ・平成23年10月28日、放射性物質の飛散を抑制する原子炉建屋カバーの設置工事が完了しました。
- ・平成23年11月30日午後4時4分、原子炉压力容器へ窒素封入操作を開始しました。
- ・平成23年12月19日午後6時、原子炉格納容器ガス管理システムの本格運用を開始しました。

2号機（停止中）

- ・平成23年3月15日午前6時頃に圧力抑制室付近で異音が発生、同室の圧力が低下しました。
- ・平成23年3月26日午前10時10分より原子炉への淡水の注入を開始し、現在は外部電源から受電した電動ポンプで淡水の注入を行っています。
- ・平成23年9月14日午後2時59分、給水系配管からの注水に加え、炉心スプレイ系注水配管から原子炉への注水を開始しました。
平成24年1月9日午前10時4分、タービン建屋内炉注水ポンプの試運転準備に伴う給水系からの注水配管切替作業が終了したことから、段階的に原子炉への注水量について調整しており、原子炉への注水量について、給水系からの注水量を約 $1.7\text{m}^3/\text{時}$ から約 $3\text{m}^3/\text{時}$ 、炉心スプレイ系からの注水量を約 $8.1\text{m}^3/\text{時}$ から約 $7\text{m}^3/\text{時}$ に調整しました。
現在の注水量は給水系配管から約 $3\text{m}^3/\text{時}$ 、炉心スプレイ系注水配管から約 $7\text{m}^3/\text{時}$ です。
- ・平成23年5月31日午後5時21分、使用済燃料プール冷却浄化系の代替冷却装置によるプール水の循環冷却を開始しました。
- ・平成23年6月28日午後8時6分、原子炉格納容器内へ窒素ガスの注入を開始しました。
- ・平成23年10月28日午後6時、原子炉格納容器ガス管理システムの本格運用を開始しました。
- ・平成23年12月1日午前10時46分、原子炉压力容器へ窒素封入操作を開始しました。

3号機（停止中）

- ・平成23年3月14日午前11時1分頃、1号機同様大きな音とともに白煙が発生したことから、水素発を起こした可能性が考えられます。
- ・平成23年3月25日午後6時2分より原子炉への淡水の注入を開始し、現在は外部電源から受電した電動ポンプで淡水の注入を行っています。

- 平成 23 年 9 月 1 日午後 2 時 58 分、給水系配管からの注水に加え、炉心スプレイ系注水配管から原子炉への注水を開始しました。
現在の注水量は給水系配管から約 2.8m³/時、炉心スプレイ系注水配管から約 6.1m³/時です。
- 平成 23 年 6 月 30 日午後 7 時 47 分、使用済燃料プール冷却浄化系の代替冷却装置によるプール水の循環冷却を開始しました。
- 平成 23 年 7 月 14 日午後 8 時 1 分、原子炉格納容器内へ窒素ガスの注入を開始しました。
- 平成 23 年 11 月 30 日午後 4 時 26 分、原子炉圧力容器へ窒素封入操作を開始しました。

4号機（定期検査で停止中）

- 平成 23 年 3 月 15 日午前 6 時頃、大きな音が発生し、原子炉建屋 5 階屋根付近に損傷を確認しました。
- 平成 23 年 7 月 31 日午後 0 時 44 分、使用済燃料プール冷却浄化系の代替冷却装置によるプール水の循環冷却を開始しました。
平成 24 年 1 月 8 日午後 1 時頃、使用済燃料プール循環冷却システムにおいて、2 次系エアフィンクーラーの定例切替（A 系から B 系）を実施しようとした際、エアフィンクーラー（B 系）の冷却管 4 箇所から水の漏えいを確認しました。現在、漏えいした原因を調査中です。
漏えいした水はろ過水（淡水）*であり、放射性物質は含まれておりません。また、漏えい拡大防止のため、当該のエアフィンクーラーを系統から隔離しております。なお、使用済燃料プールの冷却はエアフィンクーラー（A 系）を使用しており、冷却には問題ありません。

*ろ過水（淡水）：坂下ダムを水源とした水

- 平成 23 年 11 月 29 日午前 10 時 58 分、4 号機の使用済燃料プールにおいて塩分濃度を低減するためイオン交換装置の運転を開始しました。
- 現時点において、原子炉格納容器内での冷却材漏えいはないものと考えています。

5号機（定期検査で停止中）

- 安全上の問題がない原子炉水位を確保しています。
- 平成 23 年 3 月 19 日午前 5 時、残留熱除去系ポンプを起動し、使用済燃料プールの冷却を開始しました。
- 平成 23 年 7 月 15 日午後 2 時 45 分、本設の残留熱除去海水系（B 系）ポンプによる残留熱除去系（B 系）の運転を開始しました。
- 補機冷却海水系ポンプ（B）の復旧作業が完了したため、平成 23 年 12 月 22 日午前 10 時 11 分、試運転を開始し、同日午前 11 時 25 分、異常がないことを確認したため、本格運用を開始しました。
- 現時点において、原子炉格納容器内での冷却材漏えいはないものと考えています。

6号機（定期検査で停止中）

- 安全上の問題がない原子炉水位を確保しています。
- 平成 23 年 3 月 19 日午後 10 時 14 分、残留熱除去系ポンプを起動し、使用済燃料プールの冷却を開始しました。
- 平成 23 年 9 月 15 日午後 2 時 33 分、原子炉は残留熱除去系、使用済燃料プールは補機冷却系および燃料プール冷却系、各々の系統による冷却を開始しました。
- 現時点において、原子炉格納容器内での冷却材漏えいはないものと考えています。

負傷者等

- 平成 24 年 1 月 9 日午後 2 時 22 分頃、建設中の廃スラッジ貯蔵施設*において、コンクリート打設作業を行っていた協力企業作業員 1 名が体調不良を訴え、5 / 6 号機緊急医療室に運ばれ、治療を受けたが、心肺停止状態であることから、同日午後 3 時 25 分、福島第一原子力発電所から総合磐城共立病院へ搬送しました。作業員の身体に放射性物質の付着はありません。

*廃スラッジ貯蔵施設：滞留水処理の過程で発生する放射性廃棄物（廃スラッジ）を一時貯蔵するための施設。

その他

- 平成 23 年 6 月 13 日午前 10 時頃、2、3 号機スクリーンエリアに設置した循環型海水浄化装置の運転を開始しました。
- 平成 23 年 6 月 17 日午後 8 時、水処理設備において滞留水の処理を開始しました。また、7 月 2 日午後 6 時、水処理設備による処理水を、バッファタンクを経由して原子炉へ注水する循環注水冷却を開始しました。
- 平成 23 年 8 月 19 日午後 7 時 41 分、セシウム吸着装置から除染装置へのラインと第二セシウム吸着装置の処理ラインの並列運転による滞留水の処理を開始しました。
- 平成 23 年 10 月 7 日午後 2 時 6 分、伐採木の自然発火防止や粉塵の飛散防止を目的とした構内散水を、5、6 号機滞留水浄化後の水を利用し、開始しました。
- 地下水による海洋汚染拡大防止を目的として、平成 23 年 10 月 28 日、1～4 号機の既設護岸の前面に海側遮水壁の設置に関する工事に着手しました。
- 平成 23 年 12 月 13 日午後 0 時 25 分、淡水化装置（逆浸透膜式）において、淡水化装置（逆浸透膜式）処理後の濃縮水発生量の抑制を目的とした、再循環運転による運用を開始しました。
- 平成 24 年 1 月 9 日午前 10 時 40 分頃、水処理設備の蒸発濃縮装置 2 B（停止中）近傍に水たまりを発見しました。水たまりの量は 1 リットル程度で全て堰内におさまっており、漏えい箇所は蒸発濃縮装置の蒸発濃縮装置ベントコンデンサスプレイライン*のフロート式流量計で、漏えい量は 6 秒に 1 滴程度だったが、同ライン上の弁を閉止し 15～20 秒に 1 滴程度になっています。今後、漏えい箇所に受けを設置予定です。なお、漏えいした水は蒸発濃縮装置で蒸気を凝縮させた淡水化処理後の水（原子炉注水用の水）です。また、当該系統の水は定期的に核種分析が行われており、放射性物質は、至近の分析結果が β 線は $6 \times 10^{-4} \text{Bq/cm}^3$ （平成 23 年 11 月 29 日）、 γ 線は検出限界未満（平成 23 年 12 月 20 日）です。

*蒸発濃縮装置ベントコンデンサスプレイライン：蒸発濃縮装置の蒸発器で発生した蒸気（淡水化処理水）を冷却し、原子炉注水用の水を生成するための水を供給するライン

以 上